

さけます情報

北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖

さとう えくお
佐藤 恵久雄 (北海道区水産研究所 業務支援課)

2013 年の北太平洋

漁獲数

2014 年の NPAFC 科学調査統計小委員会 (CSRS) における各国の報告によると、2013 年 1-12 月の北太平洋の漁獲数は 5 億 8,602 万尾で、前年 4 億 6,482 万尾の 126% でした (図 1A)。

これを魚種別に見ると、カラフトマスが最も多い 4 億 1,827 万尾で全体の 71% を占めています。次いでサケが 1 億 641 万尾 (構成比 18%, 前年比 110%), ペニザケが 4,956 万尾 (構成比 8%, 前年比 91%) と続き、これら 3 魚種で全体の約 98% を占めています。ギンザケとマスノスケは、それぞれ 1,010 万尾 (前年比 178%), 163 万尾 (前年比 111%) となりました (図 1A)。地域別では、アラスカがカラフトマスの記録的な豊漁により 2 億 8,325 万尾と最も多くなり、以下、ロシア 2 億

2,657 万尾、日本 5,233 万尾、カナダ 1,445 万尾、アラスカ以外の米国 (ワシントン、オレゴン、カリフォルニア、アイダホ州) 931 万尾、韓国 10 万尾と続いています (図 1B)。

人工ふ化放流数

2013 年 1-12 月に各国から人工ふ化放流された幼稚魚数は 49 億 5,186 万尾で、前年 50 億 2,995 万尾の 98% でした (図 1C)。

魚種別ではサケが 31 億 1,216 万尾で 6 割以上を占め、これに次ぐカラフトマス 12 億 5,419 万尾と合わせると全体の 9 割近くを占めます (図 1C)。地域別では日本が 17 億 2,852 万尾、アラスカ 15 億 6,192 万尾、ロシア 10 億 3,906 万尾、アラスカ以外の米国 3 億 1,917 万尾、カナダ 2 億 9,348 万尾、韓国 971 万尾となっています (図 1D)。

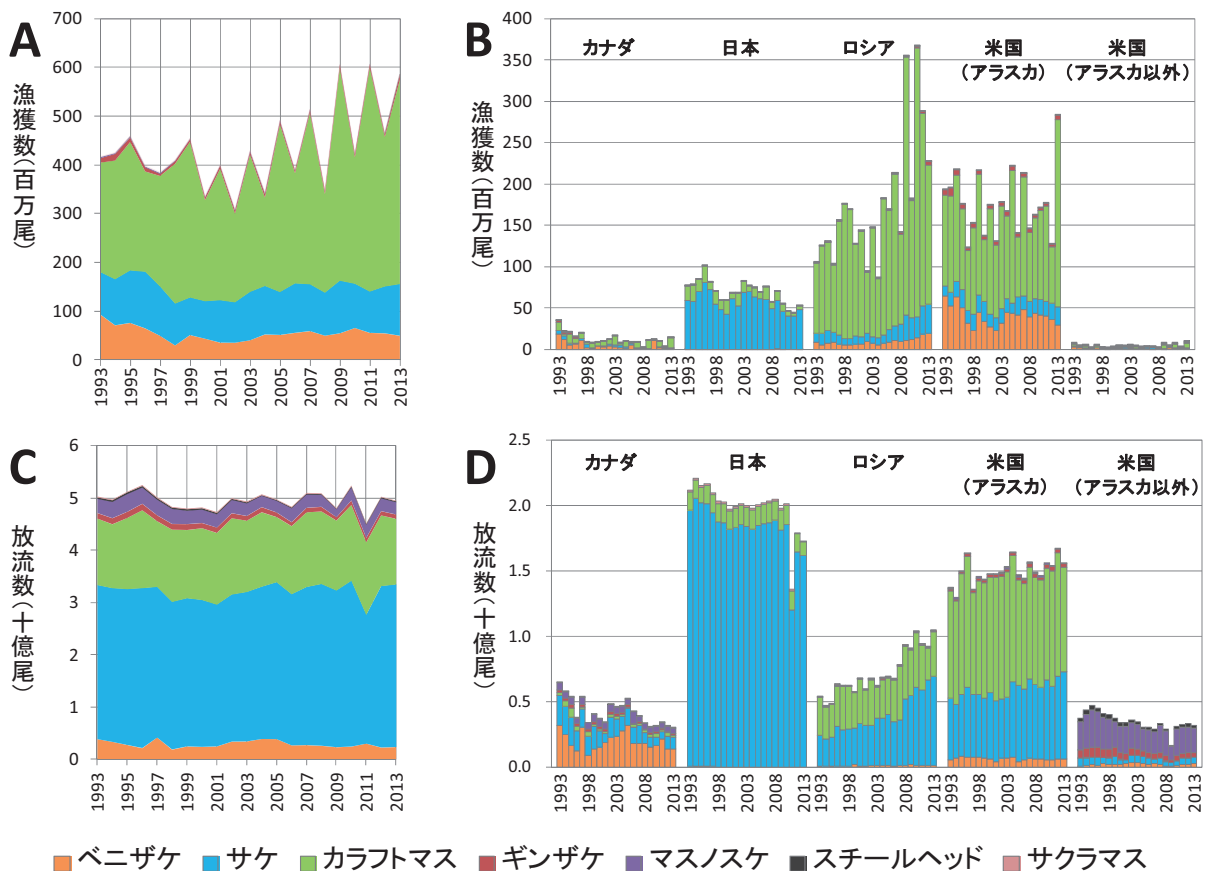


図1. 北太平洋におけるさけます類の魚種別漁獲数 (A)、地域別魚種別の漁獲数 (B)、魚種別人工ふ化放流数 (C) 及び地域別魚種別の人工ふ化放流数 (D)。1993-2010年は「NPAFC Statistical Yearbook」による確定値。2011-2013年はNPAFC年次報告等で示された暫定値。1998年までのロシアにはEEZ (排他的経済水域) で他国が漁獲したものを含む。アラスカ以外の米国はワシントン、オレゴン、カリフォルニア、アイダホ州の合計。韓国は他国に比べ漁獲尾数・放流尾数ともわずかなため図中では省略している。

2014年度の日本

サケ

2014年度の来遊数（沿岸漁獲と河川捕獲の合計）は12月31日現在で4,444万尾、前年度同期比86%となっています（図2）。今年度は、東日本大震災で被災した年級が4年魚として回帰するため、本州で大幅に減少する懸念がありましたが、幸い前年度並みの来遊がありました。総採卵数は12月31日現在で20億3,010万粒、前年同期の100%となっており、計画を満たす採卵数が確保されていることから、放流数も計画（約17億4,000万尾）と同等数になるものと見込まれます。

カラフトマス

主産地の北海道における2014年度来遊数は161万尾で前年度比49%でした。カラフトマスは来遊数が隔年で変動する特徴があり、2003年度以降、奇数年は豊漁年、偶数年は不漁年にあたります。今年度は不漁年の年回りですが、そのなかにあっても特に少なく、来遊数が200万尾を割り込むのは1986年度以来のことです。総採卵数は1億3,200万粒と計画数の78%に留まっており、放流数も計画（約1億3,600万尾）を下回る約1億1,000万尾ほどになると見込まれます（図3）。

サクラマス

2014年度の北海道における河川捕獲数は5,677尾で前年度比84%となりました。2000年度以降の捕獲数に大きな年変動が見られ、今年度は前年に続き、比較的少ない捕獲数でした。採卵数は495万粒でそ上系サクラマスの計画数392万粒を充分満たす数となりました。なお、2011-2014年度の本州河川捕獲数については現在確認中です（図4）。

ベニザケ

2014年度の北海道3河川（安平川・静内川・釧路川）における河川捕獲数は271尾で前年度比75%となりました。

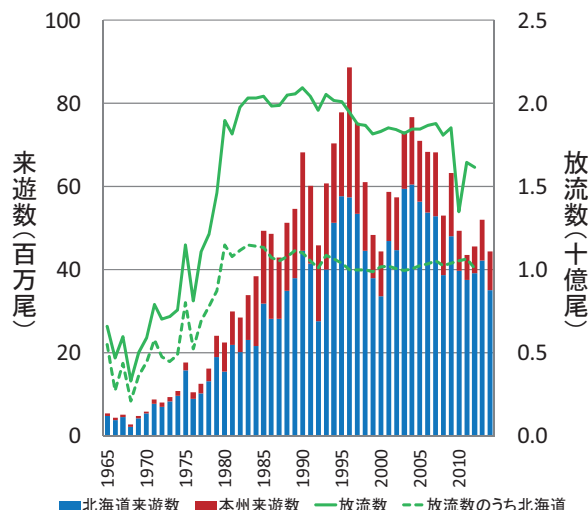


図2. 日本におけるサケの来遊数と人工ふ化放流数. 2014年度来遊数は12月31日現在. 2010年度の放流数は岩手県、宮城県を含まない.

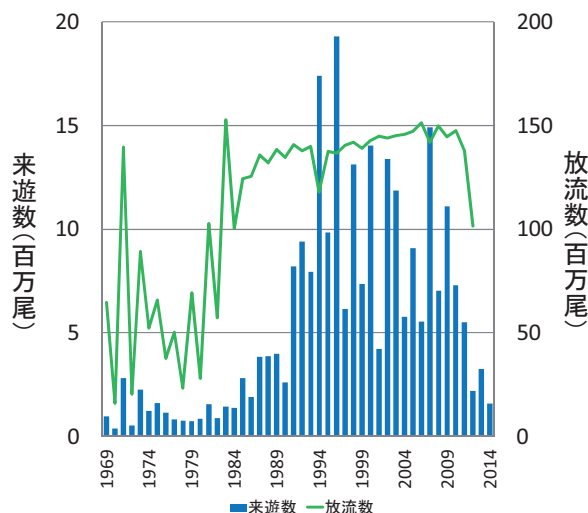


図3. 日本におけるカラフトマスの来遊数と人工ふ化放流数.

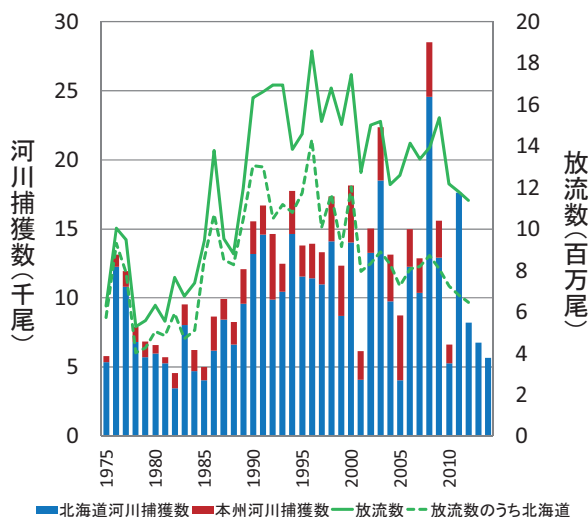


図4. 日本におけるサクラマスの河川捕獲数と人工ふ化放流数. 2011-2014年度の本州河川捕獲数は確認中.